

国際生物学オリンピック日本委員会
委員長 道上 達男

第33回国際生物学オリンピック日本代表決定

～ アルメニア／エレバンで開催される国際大会で、世界の仲間と生物学を深める ～

国際生物学オリンピック日本委員会(委員長:道上 達男)は、第33回国際生物学オリンピック(2022年7月10日から18日までの9日間、アルメニア／エレバンで開催されるIBO2022)に派遣する日本代表4名および次点者2名を決定しました。

日本代表および次点者は、全国3,080名の受験者から三次にわたる試験を経て選ばれました。今後、大学教員や専門家も交えた国際生物学オリンピック日本委員会・プロジェクトチームによる特別教育を受け、7月の国際大会に臨みます。

第33回国際生物学オリンピック 日本代表(五十音順)

| 氏名 | フリガナ | 性別 | 在学学校(所在地) | 学年 |
|--------|-----------|----|--------------------|----|
| 井上 泰直 | イノウエ ヤスナオ | 男 | 東京都立小石川中等教育学校(東京都) | 高2 |
| 川上 航平 | カワカミ コウヘイ | 男 | 久留米大学附設高等学校(福岡県) | 高3 |
| 嶋田 佐津 | シマダ サツ | 男 | 東京都立立川高等学校(東京都) | 高3 |
| 三田村 大凱 | ミタムラ タイガ | 男 | 灘高等学校(兵庫県) | 高3 |

同 次点者(五十音順)

次点者2名は日本代表4名とともに代表団として同じ特別教育に参加し、日本代表に参加できない事由が発生した際には代わって国際大会の日本代表となります。

| 氏名 | フリガナ | 性別 | 在学学校(所在地) | 学年 |
|-------|----------|----|-------------------|----|
| 高橋 都 | タカハシ ミヤコ | 女 | 女子学院高等学校(東京都) | 高2 |
| 本多 柊太 | ホンダ シュウタ | 男 | 筑波大学附属駒場高等学校(東京都) | 高3 |

国際生物学オリンピックは、世界の中等教育学校の生徒を対象にした生物学の国際的なコンテストです。生物学への関心を高め、参加者の才能を開花させるとともに、各国の生物学教育について情報を交換したり、生物学を学ぶ若者の国際交流を促進するために毎年開催されています。1990年の第1回大会(旧チェコ・スロバキア/オルモウツで開催)から数えて第33回となる2022年の国際大会はアルメニア／エレバンで開催されます。

日本代表の抱負

井上 泰直 東京都立小石川中等教育学校(東京都)

日本代表になることができたのは望外の結果で、大変嬉しいです。代表になったからには国際大会でも結果を残せるよう努力していきます。また、海外の選手との交流も、滅多にないチャンスであるので、精一杯楽しみたいです。

川上 航平 久留米大学附設高等学校(福岡県)

日本代表に選出していただけたことに驚きを感じると共に、とても嬉しく思っています。日の丸を背負うという覚悟を胸に精一杯努力し、全力を出し切れるようにレベルアップしていけるように頑張ります。

嶋田 佐津 東京都立立川高等学校(東京都)

これまで生物学を学んできて、諸分野が相互に関与しあっていることを実感した。現在は感染症の流行や生態系の保全など、解決に生物学の視点が不可欠な問題が数多く存在する。国内外で同じく生物について学ぶ将来の研究者達との交流から、様々な視点から世界の問題の解決に寄与する方法を探りたい。

三田村 大凱 灘高等学校(兵庫県)

日本代表として国際大会に出場させていただく機会を賜りましたことを光栄に思います。イベントが縮小されがちな昨今ですが、ここでの出会いや経験を大切に、そして大会に向けてさらなる自己修練に励み、納得のいく結果を残せるように精進してまいります。

<問い合わせ先>

国際生物学オリンピック日本委員会 (JBO)

総務担当：鳩貝

東京都千代田区北の丸公園 2 番 1 号科学技術館内

E-Mail : jbo@jsf.or.jp URL : <http://www.jbo-info.jp/>

公益財団法人日本科学技術振興財団 人財育成部 橋山

TEL 03-3212-8518 FAX 03-3212-7790

参考資料

■ 国際生物学オリンピック(International Biology Olympiad : IBO)について

国際生物学オリンピック(IBO)は生物学に関心を持つ中等教育学校の生徒を対象とした国際的なコンテストです。

- ・生物学の問題や実験に挑戦し、生物学への興味と創造性やねばりづよさを競う。
- ・参加する生徒の能力を伸ばし、科学者への道に導く。
- ・生物学を学ぶ生徒どうしの国際的交流の機会をあたえる。
- ・生物学教育に関するアイデアと教材の国際的な交換を推進する。

これらを目的に 1990 年に旧チェコ・スロバキアのおロモウツで第 1 回大会が開催されて以来、毎年開催国を持ち回りにより開催されています。

コンテストは、生物学に関する理論課題試験と実技課題試験によって競われます。また、それだけでなく、参加者同士の国際的交流をはかることも重要な要素とされています。毎年 7 月に開催される大会には、各々の国内選考を経て選ばれた 4 名の代表生徒と引率役員が各国・地域から参加します。

■ 国際生物学オリンピックにおける日本代表の成績

| 開催年 | 開催数 | 開催国 | 開催期間 | 参加国地域 | 参加者数 | 日本代表(4名)の成績 |
|-------|------|---------------|----------|-------|------|-------------------------------|
| 2005年 | 第16回 | 中国／北京 | 7月10～17日 | 50 | 198名 | 銅メダル 2名 |
| 2006年 | 第17回 | アルゼンチン／リオクアルト | 7月9～16日 | 47 | 198名 | 銅メダル 3名 |
| 2007年 | 第18回 | カナダ／サスカトーン | 7月15～22日 | 49 | 192名 | 銀メダル 1名 銅メダル 3名 |
| 2008年 | 第19回 | インド／ムンバイ | 7月13～20日 | 55 | 220名 | 銀メダル 3名 銅メダル 1名 |
| 2009年 | 第20回 | 日本／つくば | 7月12～19日 | 56 | 221名 | 金メダル 1名 銀メダル 3名 |
| 2010年 | 第21回 | 韓国／昌原(チャンウォン) | 7月11～18日 | 58 | 233名 | 金メダル 1名 銀メダル 3名 |
| 2011年 | 第22回 | 台湾／台北 | 7月10～17日 | 58 | 229名 | 金メダル 3名 銀メダル 1名 |
| 2012年 | 第23回 | シンガポール | 7月7～14日 | 59 | 234名 | 銀メダル 4名 |
| 2013年 | 第24回 | スイス／ベルン | 7月14～21日 | 62 | 240名 | 金メダル 1名 銀メダル 3名 |
| 2014年 | 第25回 | インドネシア／バリ島 | 7月6～13日 | 61 | 239名 | 金メダル 1名 銀メダル 3名 |
| 2015年 | 第26回 | デンマーク／オーフス | 7月12～19日 | 61 | 239名 | 金メダル 1名 銀メダル 2名 銅メダル 1名 |
| 2016年 | 第27回 | ベトナム／ハノイ | 7月17～24日 | 68 | 263名 | 金メダル 1名 銀メダル 3名 |
| 2017年 | 第28回 | イギリス／コヴェントリー | 7月23～30日 | 64 | 241名 | 銀メダル 4名 |
| 2018年 | 第29回 | イラン／テヘラン | 7月15～22日 | 71 | 269名 | 銀メダル 2名 銅メダル 2名 |
| 2019年 | 第30回 | ハンガリー／セゲド | 7月14～21日 | 72 | 285名 | 銀メダル 2名 銅メダル 2名 |
| 2020年 | 第31回 | 日本/東京・オンライン開催 | 8月11～12日 | 53 | 202名 | 金メダル 1名 銀メダル 3名 |

| | | | | | | |
|-------|------|-------------------------|----------|-------------------------|------|--------------------|
| 2021年 | 第32回 | ポルトガル／リスボン・オンライン開催 Omei | 7月19～22日 | 76 | 304名 | 銀メダル 1名 銅メダル 3名 |
| 2022年 | 第33回 | アルメニア／エレバン | 7月10～18日 | https://ibo2022.org/en/ | | |

■ 日本生物学オリンピック 2021（今回の日本代表が選ばれた国内大会）

国際生物学オリンピック日本代表選考を兼ねる「日本生物学オリンピック」は、20歳未満で大学入学前の青少年を対象とした、全国規模の生物学に関するコンテストです。日本生物学オリンピック 2021の予選と本選は新型コロナウイルス感染症の拡大によりオンラインで実施し、12名の日本代表候補者を選定しました。その後12月末に東京大学駒場キャンパスで特別教育を実施し、代表選抜試験で代表4名と次点者2名を選抜しました。

| | 日程・会場等 | 対象 |
|--------------|--|---------------|
| 予選 リモート試験 | 日程:2021年7月18日 会場:CBTによるリモート試験 | 受験者数 3,080名 |
| 本選 リモート試験 | 日程:2021年9月18日～19日 会場:慶應義塾大学鶴岡タウンキャンパス (山形県鶴岡市) | 予選の成績で選ばれた80名 |
| 代表選抜試験 | 日程:2022年3月20日 会場:科学技術館(東京都千代田区) 他3会場 | 本選試験で選ばれた12名 |

■ 日本生物学オリンピック 2022(次回の国際大会日本代表選考を兼ねた国内大会)

2023年7月にロシア／ソチで開催される第34回国際生物学オリンピック日本代表選考を兼ねる日本生物学オリンピック 2022は、5月1日より参加申し込みを受け付けます。

詳しくは、ウェブページでご案内しています。JBO ウェブページ:<http://www.jbo-info.jp/>

| | 日程・会場等 | 参加対象 |
|--------------|--|----------------------------|
| 予選 リモート試験 | 日程:2022年7月17日 会場:CBTによるリモート試験 | 20歳未満で大学等に入学する前の、主に高校生・中学生 |
| 本選 | 日程:2022年9月17日～19日(2泊3日) 会場:慶應義塾大学鶴岡タウンキャンパス (山形県鶴岡市) | 予選の成績で選ばれる約80名 |
| 代表選抜試験 | 日程:2023年3月19日 会場:科学技術館(東京都千代田区) | 本選までの成績で選ばれる約15名 |

■ 国際生物学オリンピック日本委員会(Japan Biology Olympiad Committee: JBO)

国際生物学オリンピック日本委員会は、日本国内において日本生物学オリンピックを開催し、国際大会に派遣する日本代表を選考するための三次にわたる試験を行うとともに、日本代表団を組織し、国際大会へ引率派遣しています。日本生物学オリンピックでは先端的な生物学研究にふれる機会を提供するなどして、高等学校等の生徒に対し、生物学への興味と知識の普及を図りつつ、広く科学技術一般への関心の向上と理解の増進を推し進めています。日本代表生徒の国際大会への参加体験は、将来の日本の科学技術を支える人材の育成にも役立つと期待しています。さらに、教育関係者の国際的な交流を促進し、日本の生物学教育の充実・発展に寄与することも同時に目指しています。

以上